土に学ぶ里マキノ公民館だより

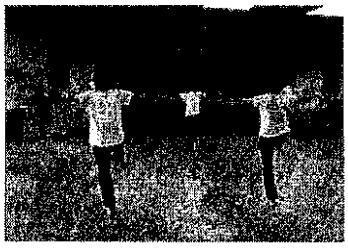
2015年8月号
編集・発行　マキノ公民館
（マキノ土に学ぶ里研修センター内）
TEL　27－1131（代）

【公民館教室が始まっています。】

今年は、ものづくりを中心とした教室を6教室、子ども向けの教室を2教室、高齢者向けを１教室の、計9教室です。定員を超える教室もありましたが、応募者全員の方に参加していただくことにいたしました。

それぞれの教室では皆さんの、生き生きとした楽しそうな表情がとても印象的です。そして新しい人間関係つくりの輪が広がっています。

中高年のための ステップアップ講座



初回はリズム体操で心地よい汗を流しました。誰でも楽しめ、リズムに乗って気持ちよく全身をほぐしました。

デジカメ教室

取扱説明書を見ても分からない方も、教室が終わるころは「名カメラマン」になれそう。一回目のお出かけ撮影会も開催しました。

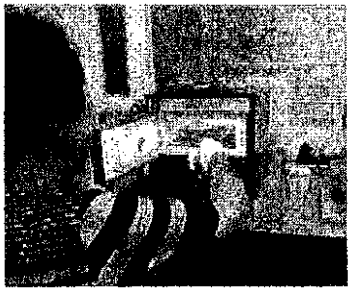
陶芸教室

陶芸のすべての工程に挑戦です。最初の工程は手ひねり（粘土細工のような作業）から。これがなかなか難しい。でも果敢に挑戦です。

木工教室

まず初心者の方向けに基本的な道具の使い方から始めています。自分だけの作品が楽しみです。

七宝焼教室



マキノでは初めての教室です。初回は製作の手順等講師の方の丁寧な説明を受け、各自ブローチ等で思った以上の綺麗な作品ができ上がりました。

親子里山探検隊

マキノは自然がいっぱい。今回は親子で蛍の観察です。平家ボタルと源氏ボタルの違いは分かりましたか。

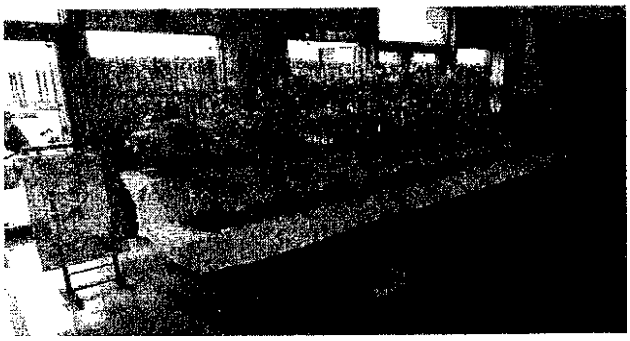
大人の 書道教室

実用書から芸術まで。「筆を立て、筆先を殺さず、手首を滑らすように、力まずに楽しく書いて下さい。」と講師の方の教え。

もみじ学級

初回は認知症とその予防について、講師の話術も相まって楽しく話をお聞きしました。予防の運動は、少し頭を使ったこれも楽しいものでした。

今年も公民館ロビーに「花とみどりの会」が見事なさつきを展示してくださいました。



５月２４日～５月３１日

マキノ青少年育成学区民会議から

６月２１日に「マキノっ子体験塾」として、琵琶湖海津沖でカヌー教室の開催を予定していましたが、残念ながらあいにくの天候で中止しました。

７月は青少年の非行・被害防止の強調月間でした。（写真）夏休みに入り引き続き非行・被害防止に目を向け、青少年を守り育てるため皆さんのご協力をお願いします。

また、よい環境づくりにも務めています。中学生に協力していただいて落書き消しも行いたいと思います。落書きをみつけたら公民館へお知らせください。

年々子どもが減少し少子化が進行しています。こんな中、地域の子どもは地域で育てる取り組みが重要になっています。まずは挨拶、声かけから、ぜひご協力をお願いします。（会長　出口 健）

皆さま、お元気ですか。

さてマキノ公民館は毎日多くの皆さんにご利用いただいています。

子どもたちのスポーツ少年団が熱心な指導者のもとで、がんばっています。どの子もみんなきちんと顔を見て目をあわせて挨拶をしてくれます。とても気持ちがよく、それだけで応援したくなります。

大人の方も非常に熱心に活動されています。Ｅｎｊｏｙマキノのスポーツ団体が、きめ細かく取り組んでおられ、高島市内ではいちばんの草の根的な活動のように思います。お世話してくださる方、参加される方、皆さんの呼吸がぴったりのようです。

文化的なサークルもたくさんあり、それぞれが楽しみながら趣味の作品つくりや教養の向上に取り組んでおられます。

現代のような変化の激しい社会の中で、これらはまさに生涯学習の理想的な姿のように思います。こうした活動で、趣味、教養、技術が深まり、健康増進につながり、友達ができ、生きていく張りにつながります。まさにいいことづくめです。

公民館はこのような皆さんの活動を応援しています。どうぞ気楽に公民館においでください。

（公民館長　大森）